PART2　接続の例題・練習問題

〔例題〕

①　次の「なり」の意味をそれぞれ答えよ。

男もす<u>なる</u>[a]日記といふものを、女もしてみむとて、する<u>なり</u>[b]。

a＝

b＝

②　次の傍線部の意味と活用形を答えよ。

御妻（みめ）<u>たり</u>き。

問一　次のカッコ内の語を文法的に正しく活用させ、記しなさい。

①　御契りや（深し）けむ、…

②　人知れず、うち泣か（る）ぬ。

③　映ら（ず）まし。

④　世を思し召されける（なり）べし。

⑤　いと口惜しと（思ふ）り。

⑥　さるべきにこそ（あり）め。

⑦　これより（過ぐ）させおはしますめり。

問二　傍線部ａ・ｂの「来」の読みとして、正しいものを次の中から選べ。

「ここに参り来［a］べかりければこそと、…」
「参り来［b］むことのわりなかるべきこと」

ア　こ　　イ　き　　ウ　く　　エ　くる　　オ　くれ

ａ＝　　ｂ＝

問三　「深く心得べきなり」の傍線部の文法的な説明として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　ア行下二段活用動詞の連体形　　イ　ア行下二段活用動詞の終止形
ウ　ハ行下二段活用動詞の連体形　　エ　ハ行下二段活用動詞の終止形
オ　ワ行下二段活用動詞の連体形　　カ　ワ行下二段活用動詞の終止形

問四　「夫人の見けむ目のやうにはあらずとも…」の傍線部の活用の行・活用の種類・活用形をそれぞれ書け。

問五　「山籠もりにて［　］むを聞かむのみぞうれしかるべき。」の空欄に入る「おはす」の正しい活用形を、次の中から選べ。

ア　おはさ　　イ　おはし　　ウ　おはす　　エ　おはすれ　　オ　おはせ

問六　「大輔［　］ましかば、恥がましかりける事かなとぞ、仰せられける。」の空欄には、「なし」の活用語が入る。最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　なし　　イ　なから　　ウ　なかり　　エ　なかる　　オ　なかれ

第７講　PART２　確認問題

①「かねてより物見車（ものみぐるま）心づかひし［　　］。」の空所にあてはまる助動詞として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　なり　　イ　けり　　ウ　めり　　エ　り

②「ただ今これより過ぎさせ<u>おはします</u>めり。」の傍線部の活用形として最も適当なものを、次の中からそれぞれ選べ。

ア　未然形　　イ　連用形　　ウ　終止形　　エ　連体形　　オ　已然形　　カ　命令形

③「つゆまどろま<u>れ</u>ず、…」の傍線部の説明として正しいものを、次の中から選べ。

ア　助動詞「り」の已然形
イ　助動詞「り」の命令形
ウ　助動詞「る」の未然形
エ　助動詞「る」の連用形

④「息も絶えつつ、□まほしげなることはありげなれど、…」の空所には「聞こゆ」の活用語が入る。最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　聞こえ　イ　聞こゆ　ウ　聞こゆる　エ　聞こゆれ　オ　聞こえよ

⑤「われまたかく□ごとし。」の空所にあてはまる語として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　の　イ　に　ウ　と　エ　は

第７講　PART２　解答

〈例題〉　①　a　伝聞推定　　b　断定　　②　断定・連用形

問一　①　深かり　②　れ　③　ざら　④　なる
⑤　思へ　⑥　あら　⑦　過ぎ

問二　a　ウ　b　ア

問三　イ

問四　マ行・上一段活用・連用形

問五　オ

問六　イ

第7講　PART2　確認問題　解答

〔解説〕

① 「し」はサ変動詞の連用形。選択肢の中で連用形に接続するのはイの「けり」。よって、イが正解。

② 「めり」の上は基本的には終止形で、ラ変型に活用する語の場合は連体形。「おはします」はサ行四段活用動詞なので、ここでは終止形。よって、ウが正解。

③ 「まどろま」はマ行四段活用動詞「まどろむ」の未然形。「り」「る」のうち、未然形に接続するのは「る」。また、傍線部下の「ず」の上は未然形。よって、ウが正解。

④ 「聞こゆ」はヤ行下二段活用動詞。「まほし」の上は未然形なので「聞こえ」となる。よって、アが正解。

⑤ 「ごとし」の上は体言・連体形、もしくは助詞「が・の」。選択肢の中で該当するのは「の」。よって、アが正解。

〔解答〕

① イ　② ウ　③ ウ　④ ア　⑤ ア